

NakaNishi ESD通信



ESDとは?
Education for
Sustainable
Development / 持続可能な開発のための教育

環境学習

ESDは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

【 重要告知 メンバー募集中!! 】
ABMORI モニタリング ～西高生が知っている ABMORI のその後～
申込み〆切 9月10日(火)
生徒昇降口の用紙に 3～4人グループで申込み

環境チームでは、「ABMORI Learners」「中西ほたるの会」「志賀高原環境学習ツアー」といった学習チームを結成し、山ノ内町の志賀高原と中野市西条区にのほたる川などに実際に足を運ぶことで、自然環境や広くSDGsについて学んできました。

志賀高原の学び ABMORI植樹リーダー

5月27日(月) ABMORIリーダー研修会 参加生徒73名 職員5名

6月1日(土) ABMORI2019へ参加 参加生徒83名 職員6名

抜けるような青空! 爽やかな空気、美しい大自然に囲まれた中で植樹イベントが行われました。朝6時30分中野西高校出発。オレンジ色のスタッフTシャツを着た83名の生徒が集まりいざABMORI会場へ! 場所は昨年に引き続き、志賀高原の柵池エリアです。植樹リーダー研修では「この苗は、生育して2年ほどです。赤ちゃんを扱うように丁寧に…」 「皆さんはリーダーなので、苗の扱い方をお客さんが見えています。見られていることを意識してください。」など、苗の植え方から扱い方まで様々なお話をききながら実際に植樹をしました。生徒達のほとんどは初めて植樹すること、今日の植樹リーダーを務めることにワクワクしていました。苗を植えて、ワラを敷き、縄でワラを押さえるまでの工程を体験しました。ワラは肌に付くとかゆい。長袖で作業をしなきゃ。式典前イベント会場へ移動。ABMORI植樹イベントを楽しみにしている1200名近くのお客さんが集まっています。「今日の植樹リーダーとしてお客様をお手伝いする中野西高校の生徒さんです」という紹介で本校の生徒を代表して3年生の二人が会場を盛り上げてくれました。来てくれたお客さんが、楽しく高校生と関わってもらえるように笑いも交えながら中野西高校の紹介をしました。出演した生徒は、小学生からの人気者になったそうです。

式典が終わると、いよいよ植樹リーダーとしての

仕事が始まります。各班のプラカードを持ち、バスへ案内します。大きな声を出すことに慣れていないので、はじめは大変でした。1グループ40名ほどのお客さんを3名の高校生が植樹リーダーとして担当します。小さい子供のお手伝いをしたり、たくさんの苗を運んだり…約1時間の作業で30区画(1区画約100m²)に22種の苗が10000本植えられました。無事、イベントを終え…お昼は、タケノコ汁とソースカツ丼を食べながらほっとしている生徒に今日の感想を聞いてみました。

「楽しかった。お客さんと話が出来た。」「遠くから来ている人もいた。福岡から飛行機で来たつて。」「来年も参加します。」生徒達の感想や喜びは、後日振り返りをして発表をする予定です。最後に、私はこのABMORIに5年間関わってきました。大自然の中でこのような大きなイベントに関われる経験は、なかなか出来ないものです。大雨のときもありましたが、どんな時でも生徒達が爽やかに生き生きと活動しています。このような学びの機会を与えてくださったABMORI実行委員会をはじめ多くの関係者の皆様に感謝いたします。これらの様子は <http://inuwashii-club.blog.jp/> (部活動公式 Blog*ESD 倶楽部) <https://www.facebook.com/NaganoPrefecture.HighSchool.Principals> (長野県校長会 FaceBook) でも紹介されています。



志賀高原の学び 志賀高原環境学習ツアー

8月2日(金) 学習会 参加生徒16名 職員5名
8月5日(月) トレッキング 参加生徒17名 職員6名

中野市内は35度を超える猛暑という予報だった本日、生徒17名職員6名の計23名が志賀高原に登り、木戸池から信州大学自然教育園までのトレッキングコースを歩いて野外教育をしました。事前の学習で、志賀高原はユネスコエコパークに指定されており、「核心地域」「緩衝地域」「移行地域」と3つのエリアに分かれていることを学んだ上で、今回は普段生活している「移行地域」ではなく、ホテルやスキー場がある「緩衝地域」から、まだ誰も自然に手をつけていない「核心地域」に向けて歩きました。現地のガイドさんの説明を受けながら、志賀高原ユネスコエコパークの素晴らしい自然を満喫することができました。生徒たちの中にはたくさんの発見があり、フィールドワーク終了後に98会館で行われた振り返り学習で、レポートを作成し全員で今回の学びを共有しました。



ほたる川の学び

5月25日(土)第1回 中西ほたるの里学習会 参加生徒8名 職員2名
7月2日(火)ほたる観賞会 参加生徒8名 職員2名
8月3日(土)ほたる川草刈り 参加生徒4名 職員3名

西条ほたるの里委員会(相談役)高野尚一先生をお招きして、学習会を行いました。中野西高校から歩いて5分ほどの畑には、毎年5月下旬から7月下旬までホタルが飛び交う場所があります。本校も平成27年から、ホタル保護のために地域の方と共にホタル川の清掃、草刈りに参加させていただいております。今年から、ユネスコスクールの一環として続けてきたこの活動を、地域の活動から様々な学びに発展させるために学習会をはじめました。高野先生は、今から25年に工場排水の汚染や農薬の影響で豊かな自然環境が失われていた西条地区に、『幼い頃見たほたるを、再びこの地で飛び交う姿を後生の子供たちにも見せたい』という思いから、ほたるの里をつくらうと住民の方に呼びかけました。

『ほたる』を中心に地域の方がつながり、環境を考え未来の子供たちへの思いをかけて取り組んでいるお話を聞きました。お話の後には、ほたるの里へ行きどのような環境で生息しているのか、なぜ草を刈るのかなどお話を聞きながら実際に草を刈ってみました。ほたる保護の活動を継続していくには、様々な問題もありこれから私たちは何が出来るのかを考えるきっかけとなりました。これから生徒達は『ほたる』様々な角度から考え、学習を深めていきます。まだ学習は始まったばかりです。どのような形で、『中西ほたるの里学習会』が発展するか…楽しみにしててください。



今後の予定

志賀高原の学び

- ABMORI モニタリング 9月29日(日)
- 高天原湿原の葦撤去作業 10月20日(日)
- 異文化チームへの情報共有会

ほたる川(ほたるの里)の学び

- ほたる川清掃
- カワニナ(ほたるのエサ)の放流